

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	3972100360
法人名	有限会社 マエダメディック
事業所名	敬愛グループホーム
訪問調査日	平成20年11月19日
評価確定日	平成21年3月12日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3972100360		
法人名	有限会社 マエダメディック		
事業所名	敬愛グループホーム		
所在地 (電話番号)	高知県香美市香北町美良布899 (電話)0887-57-3488		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年11月19日	評価確定日	平成21年3月12日

## 【情報提供票より】(平成20年11月4日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成16年3月8日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人
職員数	7人	常勤	6人、非常勤1人、常勤換算5.2人

## (2)建物概要

建物形態	併設 <b>単独</b>	新築 <b>改築</b>
建物構造	木造	
	2階建ての	1階 ~ 2階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000円	その他の経費(月額)	18,000円	
敷金	有(円)	<b>無</b>		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250円	昼食	350円
	夕食	400円	おやつ	100円
	または1日当たり		1,100円	

## (4)利用者の概要(11月4日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名	
要介護1	0名	要介護2	2名			
要介護3	4名	要介護4	2名			
要介護5	1名	要支援2	名			
年齢	平均	83.9歳	最低	68歳	最高	90歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 敬善会 前田メディカルクリニック
---------	-----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営者の先代の診療所を改築した事業所は年代を感じさせる趣があり、ところどころに配置された家具、絵画がよりいっそう落ち着きのある雰囲気を醸し出している。地域の中心に位置していることから、二階から町並みが一望でき、向かい側の中学校の正門を子供達が入りし、利用者にとっては地域の中で暮らしている気持ちを持ち続けられる環境となっている。開設以来の利用者が多く、高齢化・重度化が進んでいるが、困難な中でも職員は重度化への対応等の研鑽に励んでおり、安心して住み続けられる施設づくりの姿勢が窺われる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	改善計画は立てたものの、職員の離職で日常業務が多忙となったため、改善に向けた取り組みがなされていない課題が残っている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価の意義を理解しており、管理者と職員が職員会やミーティング等で話し合い、自己評価に取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議では事業所の現況や取り組みの報告にとどまらず、家族や地域の方からの意見や要望も出され、双方向的な会議となっている。地域への働きかけとして地域防災会の設置の提案もしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族と事業所との交流の機会を通じて家族から直接意見を聞き、意見等があればその時々で解決し、ケアや運営に反映させているが、家族間での話し合いが出来る仕組みづくりや苦情箱等を設置するまでには至っていない。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入し、年に2回の地域の清掃に参加したり、地域の行事に出かけるなど、地域の一員として自治会活動に参加している。また、事業所の敬老会等の行事に地域の方々を招いたり、地域の中心地である立地条件を活かして、庭先で日向ぼっこをしながら近隣の方々と日常的に交流をするなど、地域に溶け込み、連携を深める努力をしている。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 事業所と地域の関係強化を謳った独自の理念がある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 毎日のミーティングや職員会等で話し合い、意識付けをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 高齢化・重度化が進み、意向の把握が困難な利用者が増えてはいるが、声かけの反応や表情で気持ちを感じ取り、その情報を職員間で共有するとともに、利用者が生き甲斐を持ち、主体的に生きることを支援するために、出来ることは極力してもらい、出来ないところを支援するように努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 年に2回の地域の掃除に参加したり、地域の行事に出かけるなど、地域の一員として自治会活動に参加している。また、事業所の敬老会等の行事に地域の方々を招いたり、地域の中心地である立地条件を活かして、庭先で日向ぼっこをしながら近隣の方々との日常的な交流をするなど、地域に溶け込み、連携を深める努力をしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 評価の意義を理解しており、管理者と職員が職員会やミーティング等で話し合い、自己評価に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 評価で見出された課題については改善計画は出来ているが、退職者が多かったことなどから改善に向けた取り組みがなされていない課題が多い。	○	積み残された課題は、災害対策や介護計画などいずれも利用者にとって重要な項目であるので、職員とともに、改善に向けた取り組みを行うことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 運営推進会議では、事業所の現況や取り組みの報告にとどまらず、家族や地域の人からの意見や要望も出され、双方向的な会議となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 外部評価の結果を報告し、意見交換も行っている。		
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。  市町村からは研修等の情報をもらい、事業所からは運営や処遇の報告や相談をするなど、交流を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 少ない場合でも月に一度は家族の来訪があるので、その際、利用者の生活状況の報告を行い、家族の状況や意見も聞くように努めている。 <input type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 ホームでの生活ぶりの写真を時折掲示して、来訪した家族に持って帰ってもらっているが、利用者の暮らしぶりを「ホーム便り」や手紙などで定期的に報告はしていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。 電話で報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 家族来訪時に小遣い帳の確認とサインをもらっている。	○	家族の安心を確保し、事業所との信頼関係を築くためにも、家族来訪時の報告だけでなく、利用者の暮らしぶりやエピソード等を「ホーム便り」や手紙などで定期的に伝えることを期待したい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会は組織していない。年2回程度家族と一緒に食事会を行っているが、家族間での話し合いはなく、家族からの意見や苦情が出ることは少ない。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 個別に出される家族からの意見や苦情については直ぐに話し合いを行い対応するとともに、サービスの質の向上に役立てるようにしている。	○	家族来訪時には、管理者や職員は家族から意見を聞き取る努力をしているが、家族間で話し合い、意見や苦情が出せるような仕組みづくりを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。</p> <p>本年度は特異なケースで2名の退職者が出ているが、開所以来、職員の交代は少なく、馴染みの職員が継続的に支えるように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。</p> <p>職員が代わる時は、引継ぎ期間やフォローする職員の状況等を勘案し、離職の時期を調整するなど、スムーズに移行できるよう対応している。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p>事業所が費用負担し、外部研修を年間計画に組み入れ、全職員がレベルに応じた研修に参加できるように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。</p> <p>研修後の伝達講習を行い研修内容を共有している。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p>高知県宅老所・グループホーム連絡会に加入している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。</p> <p>隣接する2市のグループホームの職員が集まり、交流会や勉強会を行い、職員のサービスや質の向上に努めている。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>入居希望者本人はもちろん、家族からも状況や生活歴等を聞き、意向の確認もしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>本人や家族に見学または体験をもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 高齢または高い介護度の利用者が増えているが、洗濯物たたみや野菜作りなど、出来ることは自主的にしてもらい、出来ないところを支援しながら、協働して和やかに生活している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。 利用者の思いを聞いたり感じたりするだけでなく、反対に、時には若い職員が悩みを聞いてもらうなど、共に感じあえる関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 重度化で意向の把握が困難な利用者が増えているが、生活歴、家族からの意見、声かけに対する反応や表情を感じ取り、本人の意向や希望を把握するように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 家族や関係者が来訪した際に、出来る限り情報を得るようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 職員全員で話し合いをしている。 <input type="checkbox"/> その他 本人や家族からの意見を聞き、職員全員で意見交換もしているが、利用者の重度化に伴い介護業務が多くなり、アセスメントやモニタリングが不十分となっている。	○	本人や家族の意向を活かしたより良い介護計画作成のためにも、日常のかかわりの中で得た情報もアセスメントやモニタリング時に活かすことを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。  見直しが遅れている事例がある。  <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。  状態に変化が生じた場合は見直し、個別に期間設定を行っている。	○	安定しているような場合でも、本人や家族の意向や状況を確認し、関係者の新たな気づきなどにより、介護計画を見直すことが望まれる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。  看護師の職員としての配置や定期的な往診などにより、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。  <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。  本人の希望や家族の状況に応じて、通院や送迎等の外出支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。  本人や家族の希望するかかりつけ医に受診できるように支援を行っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。  家族の同伴が無い場合は、家族に受診結果を報告している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。  終末期の対応方針を定め、説明や話し合いを行っている。  <input type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。  一般的な支援方法についての話や説明はしているが、現在該当者がいないため、具体的な話は充分できていない。	○	利用者の高齢化、重度化が進んでいるので、関係者で継続して話し合いを行い、協力医療機関との連携を含めて、チームで取り組める体制づくりを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 職員は丁寧な声かけをし、さりげなく、目立たないように支援している。  <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。  <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 個人情報管理規程などの整備を行い、職員からは法令遵守の同意書も取り、ミーティング等で関連法令等の勉強会を行うなど、法の理解と徹底に努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 その日の体調や気持ちに合わせた支援を行っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 基本的な一日の流れや予定はあるが、利用者のペースに合わせた支援を行っている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 介護度の高い利用者が多いので出来ることは限られているが、職員と共に準備や後片づけを行っている。 <input type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 一部の職員のみが同じ食事を一緒に取っている。	○	介護度の高い利用者がいるため、一緒に食事を取るのが難しい状況もあるが、可能な限り多くの職員と一緒に食事を出来る工夫が望まれる。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 利用者の習慣や希望を確認し、楽しんで、リラックスできる入浴を支援している。現在は夜間入浴はしていないが取り入れる方向で検討している。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 声をかける時間や人を変えるなど、工夫して支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。  洗たく物たたみや野菜の皮むきなど、利用者の得意なことをしてもらい、また、畑作りのアドバイスをしてもらうなど、知恵や能力を発揮出来る場面を作り、そのつど感謝の言葉を伝えるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。  皆で歌を歌ったり、洗濯物たたみや食事の準備をしたりして、働きかけをしている。		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。  近所のなじみの店に買い物に行ったりしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。  介護度の高い利用者は遠出が困難なこともあるが、事業所の庭が公道に面し、向かい側に中学校があるので、日向ぼっこを兼ねてよく出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。  近隣への散歩や買い物以外にも、外食等に出かけている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。  <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。  日中はリビング等で利用者と一緒に過ごし、さりげなく外出傾向のある利用者の見守りをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。  利用者はほとんどが近隣の出身であり、顔なじみの関係は出来ている。また、日々の散歩時に近隣の方と挨拶を交わすなど、連絡してもらえる関係を築いている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 地区に防災会ができ、事業所も加盟しているが、防災会としての防災訓練は未だ実施していない。また、事業所独自の防災訓練は実施しているが、地区住民は参加していない。 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 非常用食料、水、備品等の備蓄が少なく、保管場所も事業所の奥まったところで、緊急時の持ち出しに不安がある。	○	近隣との関係作りは出来ているので、地区の防災会と協力して事業所で防災訓練を実施することが望まれる。また、非常用食料や備品の必要量の把握と準備並びに非常持ち出し方法についての検討が望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 外食や利用者の好みを採り入れ、栄養バランスにも配慮し支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 栄養士のアドバイスを受け、代替食等の工夫なども行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 運営者の先代が使っていた家具などを配置し、利用者にとって馴染みやすく、年代を感じさせる空間となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 落ち着いたある日本家屋で、季節感のある草花を玄関やリビングに飾り、季節感と五感の刺激に配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。 馴染みの家具等の持込が少ない場合は写真やカレンダー等を飾り、個別に工夫して、自分の部屋らしくなるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。		